令和8年10月発行

令和８年度ふなばし結核情報

～高齢者の方・支援する方々へ～

発行：船橋市保健所健康危機対策課　結核感染症係
☎047-409-2867



ふなばし結核情報とは？
船橋市の現状をお知らせし、結核の感染拡大を防ぐために、令和3年度より年1回程度発行しています。

結核は過去の病気ではありません！

結核は、今でも毎年10,000人以上の新しい患者が発生し、約1,500人が命を落としている日本の重大な感染症です。

チェック！

こんな症状はありませんか？

結核を疑って医療機関を受診しましょう

★**痰(たん)・咳・微熱・身体のだるさ**が２週間以上続く

★食欲がない・いつもより活気がない・寝汗をかく・急な体重減少がある

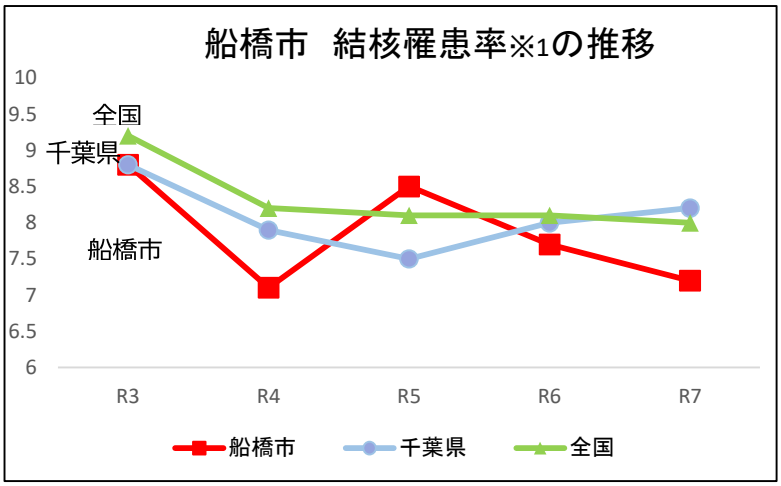
結核発病の危険が高い人は？

- ☑ 喫煙習慣がある人
- ☑ 胃潰瘍、胃の手術をした人
- ☑ 糖尿病の人
- ☑ ＨＩＶ感染や免疫の弱い人
- ☑ ステロイドホルモン治療をしている人
- ☑ 結核高まん延国からきた外国生まれの人
- ☑ 人工透析をうけている人

★高齢者ははっきりとした症状が出ないことがよくあります。

★症状がなくても
年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。

船橋市の結核



船橋市の結核新登録患者数は、令和6年から横ばいとなっています。

全国的に高齢者が多く、船橋市では60歳以上の方が5割を占めます。

結核は、まだまだ注意が必要な病気です。

※1　新登録患者数を人口10万対で示した数字

こんなことがありました…

＜事例１＞

80歳代。認知症の一人暮らし。地域包括支援センター、在宅介護支援センターが介入中。咳症状出現し、かかりつけ医受診するが咳止めのみ処方。3か月間定期受診。近所の人が自宅で動けなくなっているところを発見、救急搬送、そのまま入院。胸部CT検査で異常あり、痰の検査で結核菌が見つかり、肺結核と診断される。

＜事例２＞

60歳代。咳が出始めるが受診せず。2か月後にかかりつけA病院受診するが風邪と診断。症状悪化あり、B病院を受診。胸部X線検査、CT検査にて異常あり。2か月間通院しても診断つかず、C病院へ紹介。C病院で胸部X線検査、痰の検査実施。培養検査で結核菌が見つかり、肺結核と診断される。

チェック! 結核は早期発見・早期治療をすることで、きちんと治る病気です。
症状が続く時や、いつもと違うな？と感じた時は、受診しましょう。

Q&A

Q．どうやって感染するの？

A．結核は**空気感染**します。
菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に結核菌を吸い込むことで感染します。



Q．結核の治療は？

A．**６～９か月、複数の薬を毎日飲みます。**
結核は、決められた期間薬をきちんと飲めば治ります。その期間中に薬を飲まなくなると、薬が効かない耐性菌を作り出してしまい、治療が長くなったり、重症化する危険性があります。
薬を飲み忘れることなく、決められた期間で飲み切ることが大切です。

Q．感染したら他の人にうつすの？

A．**感染しただけでは人にうつしません。**
結核菌に感染しても、症状が出ていない時は、免疫の働きで結核菌を抑え込むことができ、発病しません。
加齢や病気などで免疫が落ちると、結核菌が動き出して発病し、他の人にうつす可能性が出てきます。

結核についてもっと知りたい方はこちら

船橋市ホームページ



船橋市の結核予防啓発キャラクター
DOTS船隊結核やっつけるんジャー